

令和元年度 F D 実施報告書

| 学部・学科 | 栄養科学部 フード・マネジメント学科 |
|--|---|
| <p>F D 取り組みへの理念・目標</p> <p>教育目標「栄養科学の知識・技術およびグローバルな視点を持って考える態度を基盤とし、健康増進に寄与する食品の研究・開発・製造のための知見に加え、食科学を国内外へのビジネスへつなげる知見を併せもつことで、高付加価値な食産業を創出できる人材を養成」を達成するために、また第 7 次中期総合計画に則し、文理融合型学科の特性を活かした研究を進めるために、FD を通じて教育研究システムを構築する。</p> | |
| 回数、期間、実施日等 | 実施事項・内容、実施組織、評価項目等 |
| 4 月 2 日 | <p><u>テーマ：初年次教育</u></p> <p>推薦入学者（19S）を対象とした、ドリルによる自学自習（英語・国語・数学・化学・生物）の徹底を図るため、専任教員全員で分担して学習状況を確認して、不十分な学生に再提出を求めた。</p> |
| 4 月～7 月 (8 回実施) | 大学基礎演習として初年次教育をシステム化した（毎週月曜日 5 限）。 |
| 4 月～6 月 | プレイスメントテスト（英語）により習熟度別クラス編成（ベルリッツ英語学院）を行った。また、ラーニングサポートセンターの協力のもと、プレイスメントテスト（化学）の成績下位学生を対象に、化学の補完学習を実施した。 |
| 10 月 3 日 | 次年度推薦入学者（20S）を対象とする入学前学習ドリルの内容の見直しについて、全教員で基本方針を確認した後、各科目担当教員がラーニングサポートセンターと協力して改訂した。 |
| 4 月 8 日 | <p><u>テーマ：TOEIC 受験の推奨</u></p> <p>学生部の協力のもと、1 年生全員を対象に、海外留学、語学学習等について説明会を実施し、TOEIC 受験を促した。</p> |
| 4 月 15 日 | 1 年生全員を対象として、TOEIC ブリッジ試験を実施した。 |
| 通年 | 7 月、8 月、11 月、1 月に実施した TOEIC-IP 試験の受験状況、結果を学科内で共有し、ダブルディグリー希望学生等への指導に活用した。 |
| 4 月～6 月 | <p><u>テーマ：産学連携授業</u></p> <p>学科内で情報共有しながら、1 年生希望者を対象に、「株力の源ホールディングス」の協力による「コミュニケーションリーダーシップ演習」（単位なし）を実施した。</p> |
| 8 月～9 月 | <p><u>テーマ：インターンシップ・就職支援</u></p> <p>連携推進部とともに、1 期生のインターンシップ受け入れ企業の開拓に向けて、教員が有する協力可能企業の情報等を共有し、集中講義「食品ビジネスインターンシップ」として 40 社でのインターンシップを実現した。</p> |
| 7 月 6 日 | 学科創設時のコンソーシアム企業・団体を含む 1 期生就職先の再開拓を行い、これら企業との継続的な連携が可能となるよう、「次世代食産業人材育成懇談会」を開催し、学科主任が学科の人材育成に関する取組を、学生代表 2 名が当学科での学びや課外活 |

| | |
|-------------------------|---|
| | 動などを報告した。 |
| 9月13日 | 関東、関西地域の就職受け入れ候補企業の掘り起こしと学生の就職活動支援の観点から、東京の大手食品製造企業を訪問しインターンシップ・採用についてヒアリングした内容を、学科内で情報共有した。併せて、就職関連セミナーの年間スケジュール等を共有し、各教員が授業等で参加するよう指導した。 |
| 6月6日 | <u>テーマ：卒論準備</u> ゼミ選考手順について議論した後、6月17日に、3年生全員を対象に、選考スケジュール、教員への相談方法、各教員から指導テーマ・ゼミ活動概要について情報提供する説明会を開催した（事前相談、希望書類提出、第一次選考、第二次選考、個別相談等を経て、10月8日に振り分けが完了し、研究ゼミ（単位なし）を実施）。 |
| 10月3日 | <u>テーマ：研究活動</u> 学科全教員参画によるプロジェクト研究の内容について、次年度予算要求の基本方針を議論した。 |
| 2月27日 | 教員相互の研究情報交流を図るため、「栄養科学部・食物栄養学科合同研究大会」で研究発表を行った（水元教授「ミクロネシア連邦ポンペイ州の成人を対象とした短期的減量効果についての介入研究」）。 |
| 10月3日 12月5日 | <u>テーマ：公開授業</u> より効果的な公開授業となるよう、学科の意見を3点に集約して、FD推進委員会に提出した。 |
| 8月22～24日 9月2～3日 | <u>テーマ：資格試験への対応</u> フード・マネジメント学科3年生の97名を対象に、日本食品保蔵学会認定のHACCPワークショップを実施し（3日間ずつ2グループ）、11月24日、「HACCP管理者」資格が認定された。 |
| 11月17日 | 選択科目「食品表示の実務」において、実務的な観点からの授業を実施し、第20回食品表示検定試験において、当該授業の受講者を中心に、団体受験で学科3年生のうち初級食品表示診断士に63名、中級食品表示診断士に16名が合格した。 |
| 12月15日 | フードスペシャリスト資格認定試験において、学科3年生のうち、「フードスペシャリスト資格」に107名が合格、特に専門的な知識を必要とし難易度の高い「専門フードスペシャリスト資格（食品開発）」に6名、「専門フードスペシャリスト資格（食品流通・サービス）」に4名が合格した。試験準備として、学科会議等における試験に関する情報共有（随時）、フードスペシャリスト協会主催の専門委員会委員と養成機関教員とのシェアミーティングの本学での開催（9月7日）、各科目の試験対策講座を実施した（11月：5科目）。また次年度に向けて試験対策を強化するため、ワーキンググループを設置し、第1回会議を2月20日に開催した。 |
| 7月17日 7月31日 2月19日 | <u>テーマ：完成年度以降の新カリキュラム検討</u> 学生授業アンケートの結果等も踏まえて現行のカリキュラムの問題点を議論して基本的な方向性を確認した上で、担当領域の教員が、新たな科目の追加（スクラップ&ビルド）、科目配当年次の適正化等の案を持ち寄り議論した。 |

| | |
|---------------|---|
| 2月19日 3月5日 | <p>テーマ：リカレント教育に関する予備的な検討</p> <p>リカレント教育に関する予備的検討として、①検討の進め方とスケジュール、②政府におけるリカレント教育に関する検討状況について、学科内で情報共有した。</p> |
|---------------|---|

「教育システム改革 2014 (FD2014)」の進捗状況

| 項目 | 主な実施内容 | 進捗状況 | 補足説明 |
|-----------------|--|---|---|
| 授業科目の組織的な管理 | ルーブリックの導入 | <input type="checkbox"/> 未着手 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済 | |
| 教員の教育力に対する評価の導入 | 授業アンケート結果の組織的な活用 | <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 実施済 | 各学期の学生による授業アンケートの結果をもとに、昨年度との比較、他学科・学部との比較等を行っている。 |
| 教育方法の改善 | アクティブラーニング (特に PBL)の推進 PBL：課題解決型授業 | <input type="checkbox"/> 未着手 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 実施済 | 引き続き、アクティブラーニング型の実験実習科目に加えて、学科プロジェクトやビジネス系科目・コミュニケーション科目でアクティブラーニングを推進している。 |

「FD2014」はサイボウズのファイル管理「FD 推進センター」にあります